

美しいあなんを求めて

下水道

連載②

下水道のしくみ

汚水と雨水は分けて処理します。



上の地図が示す区域を第1期計画区域としています。完成すれば、区域の中に住む方(約3,500人)のうち、下水道につなぎこみ工事をされた家庭から下水道が利用できます。

阿南市では、富岡町のJR西側で「公共下水道事業」を進めております。計画では、平成23年春に終末処理場(富岡浄化センター)の供用を開始する予定です。市民の皆さんの中には、下水道について興味を持たれている方も多いのではないかと思います。そこで、下水道についての理解を深めていただくため、「美しいあなんを求めて」を連載しています。今回は、下水道のしくみについてご説明いたします。

下水がきれいになるまで

わたしたちが家庭で使った後の汚れた水(汚水)や雨水は、どのようにして、きれいな水となって川や海に戻されていくのでしょうか。

家庭などから流れ出た汚水は、道路の下に埋設されている污水管を通じて富岡浄化センターに流れいきます。

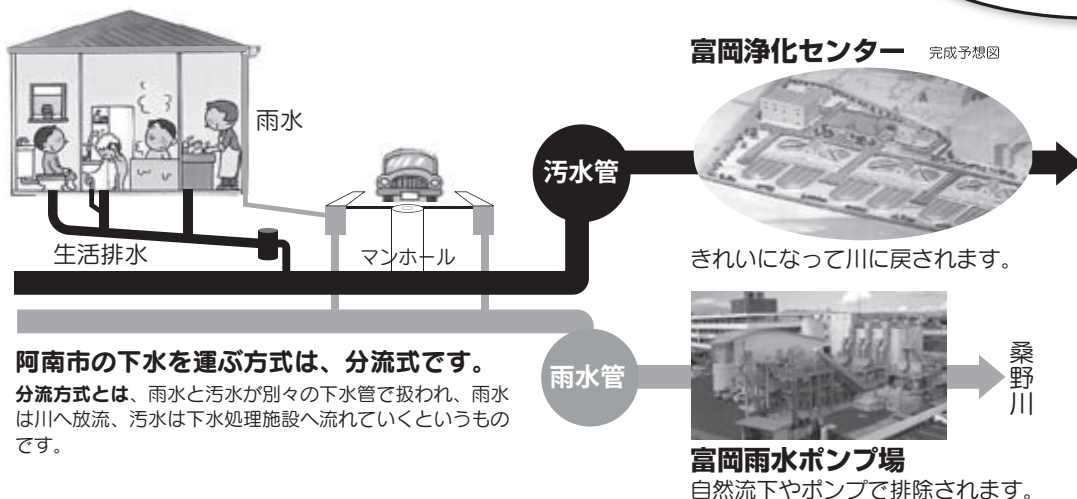
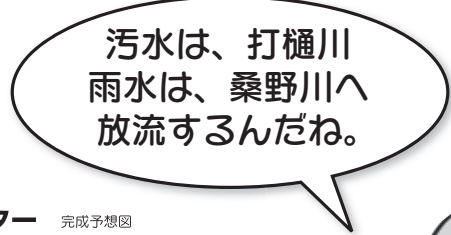
汚水は、高低差のある污水管の中を自然に流下しますが、地形の状況などにより自然流下が困難な場合には、ポンプを設けて一度高い位置へ汚水をくみ上げ、そこから再び污水管へ流し込みます。浄化センターに流れ込んできた

汚水は、微生物の働きを利用して下水を浄化したり、いくつもの施設を通り抜ける間に次第にきれいな水に生まれ変わり、最後に滅菌され打樋川へ放流されます。

一方、雨水は側溝等に流れ、専用の雨水管を通じて富岡雨水ポンプ場に流れ込み、ポンプで桑野川へ排出しています。(平成18年度の供用開始以降は浸水被害が減少しました。)

今回は、個人で設置・管理する部分の「排水設備」について掲載いたします。

問い合わせは 下水道課 (☎22-1796)へ



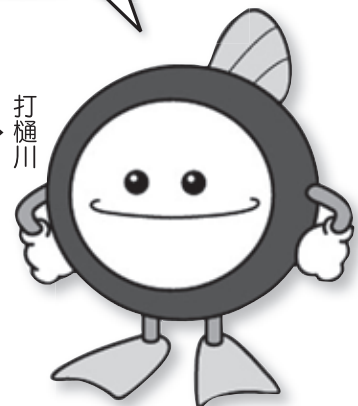
阿南市の下水を運ぶ方式は、分流式です。分流方式とは、雨水と汚水が別々の下水管で扱われ、雨水は川へ放流、汚水は下水処理施設へ流れていくというものです。

富岡浄化センター 完成予想図

きれいになって川に戻されます。



富岡雨水ポンプ場 自然流下やポンプで排除されます。



下水道マスコットキャラクター「スイスイ」